

[平成16年度設置]

武蔵野学院大学

設置に係る留意事項実施状況報告書

学校法人 武蔵野学院
平成19年4月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	教務部
職名・氏名	部長 佐々木 隆 <small>ささき たかし</small>
電話番号	04-2954-6131
(夜間)	090-8317-1228
F A X	04-2954-6134
e-mail	kyoumu@musa.ac.jp

武蔵野学院大学
大学等設置に係る留意事項実施状況報告書

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	施設・設備の整備状況、経費	10
4	既設大学等の状況	11
5	教員組織の状況	12
6	留意事項に対する履行状況等	18
7	その他全般的事項	19
8	留意事項に関する添付資料	23

※プライバシー保護の観点から、文部科学省へ提出した書類とは一部表現が異なります。

大学等設置に係る留意事項実施状況報告書

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 武蔵野学院

(2) 大学名

武蔵野学院大学

(3) 大学本部の位置

埼玉県狭山市上広瀬860番地

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(タカハシ ノブオ) 高橋 暢雄 (平成11年12月)		
学長	(タカハシ ノブオ) 高橋 暢雄 (平成16年4月)		
学部長	(オオクボ ハルオ) 大久保 治男 (平成16年4月)		
学科長等	(ハヤシ タケン) 林 猛 (平成16年4月)		

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	認可時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科 学士(国際コミュニケーション)	4年	120人	3年次 15人	510人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員		120人	(-)人	(15)人	(15)人	1.01倍	
志願者数		183	(-)人	(29)人	(10)人		
受験者数		178	(-)人	(29)人	(10)人		
合格者数		156	(-)人	(24)人	(7)人		
B 入学者数		150	(-)人	(22)人	(6)人		
入学定員超過率 B/A		1.25	(-)人	(1.46)人	(0.4)人		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
1年次		[13] 150	[13] 127	[28] 100	[13] 121	
2年次			[11] 140	[13] 120	[20] 82	
3年次				[32] 146	[22] 116	
4年次					[27] 136	
計		[13] 150	[24] 267	[73] 366	[82] 455	

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

報告年度	区分	退学者等の数	入学者数に対する退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度		9 人 [2]	6.0 %	左記のうち、 平成16年度入学者 9 人
		(主な理由) 進路変更、経済的事情		
平成18年度		21 人 [0]	7.6 %	左記のうち、 平成16年度入学者 15 人 平成17年度入学者 6 人
		(主な理由) 進路変更、経済的事情		
平成19年度		31 人 [2]	8.3 %	左記のうち、 平成16年度入学者 8 人 平成17年度入学者 13 人 平成18年度入学者 10 人
		(主な理由) 進路変更、経済的事情		

2 授業科目の概要

〈国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科〉

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
文学	1・2		2							
歴史	1・2		2							
民俗学	1・2		2		1					
倫理学	1・2		2							
日本国憲法	1・2		2							
現代社会と法	2・3		2		1				1	
現代社会と政治	1・2		2							
現代社会とビジネス	1・2		2		1					
現代社会と情報	2・3		2				1			
環境と科学	2・3		2		+					就任辞退のため、兼任対応⑩
生活と自然	1・2		2		1					
生活と科学	1・2		2		1					
コンピュータと情報数学	1・2		2				1			
保健体育	1・2		2		1					
スポーツ1	1・2		2		1					
スポーツ2	2・3		2							
スポーツ3	2・3		2		1					
スポーツと健康1	1・2		2		1					
スポーツと健康2	1・2		2		1					
英語コミュニケーション	1・2		2							
中国語コミュニケーション	1・2		2							
かけがえのない地球	2・3		2		+					就任辞退のため、兼任対応⑩
人間と安全保障	3・4		2							
女性論	3・4		2							

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
ボランティア	1・2		2							
現代企業と職業	1・2		2		1					
リカレント教育論	1・2		2							
Freshman English Reading	1	2			2	1	1			
Freshman English Writing	1	2			2	1	1			
Freshman Oral English	1	2					1			
Advanced English Reading	2	2			1	1	1			
Advanced English Writing	2	2			1	1	1			
Advanced Oral English	1	2					1			
Integrated English	3・4		2		1	1	1			
English Grammar	2・3		2		1					
Public Speaking	2・3		2				1			
Freshman Communication English	1・2		2		1					
Advanced Communication English	2・3		2				1			
英語討論	3・4		2		1					
ビジネス英語	3・4		2		1		1			
英語学概論	2・3		2		1					
英米文学史	1・2		2		1					
英語講読	3・4		2		2					
中国語Ⅰ(初級)	1・2		2							
中国語Ⅱ(中級)	1・2		2							
中国語Ⅲ(上級)	2・3		2							
フランス語Ⅰ(初級)	1・2		2							
フランス語Ⅱ(中級)	1・2		2							
日本語Ⅰ(初級)	1・2		2							
日本語Ⅱ(中級)	1・2		2							
日本語Ⅲ(上級)	2・3		2							

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
情報処理入門	1	2					2			
情報関連法規	1・2		2				1			
Computer Training1	1	2					2			
Computer Training2	1		2				2			
情報処理応用演習 I	2・3		4				1			
情報処理応用演習 II	2・3		4				1			
ネットワークシステム	1・2		4		1					
システム設計	2・3		2							
デジタル通信	1・2		2							
情報検索	2・3		2							
マルチメディア表現	3・4		2							
情報機器利用プレゼンテーション演習	3・4		4				1			
社会情報システム論	1・2		2							
情報と職業	1・2		2		1					
コミュニケーション概論	2・3		2							
マス・コミュニケーション概論	2・3		2							
異文化コミュニケーション	1・2		2		1					
プレゼンテーション	1・2		2							
言語的コミュニケーション論	2・3		2		1					
非言語的コミュニケーション論1(音楽表現)	1・2		2							
非言語的コミュニケーション論2(造形表現)	1・2		2							
非言語的コミュニケーション論3(行動表現)	3・4		2							
コマーシャル表現論	3・4		2				1			
映像表現論	1・2		2							
社会学概論	1・2		2							
心理学概論	1・2		2							
カウンセリング	2・3		2							

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
発達心理学	3・4		2							
社会心理学	2・3		2							
教育社会学	1・2		2							
社会福祉	1・2		2							
老人福祉	2・3		2							
家族関係論	3・4		2							
世代交流論	2・3		2							
日本文化論	1・2		2		1					
日本の生活文化	3・4		2		1				1	若手の教育研究活動の一層の充実を図るため助手を追加。⑱
日本の文学とことば	1・2		2							
日本の思想と宗教	2・3		2							
日本の政治と歴史	1・2		2							
国際コミュニケーション	1・2		2							
国際関係	3・4		2							
国際情勢	1・2		2		1					
国際情報論	3・4		2		1					
危機管理	1・2		2		1					
国際政治史	1・2		2							
国際サービス	3・4		2							
ビジネス・マネジメント	3・4		2		1					
簿記・会計	1・2		2							
金融論	3・4		2							
国際経済協力	2・3		2							
国際文化交流	1・2		2		1					
アメリカ文化事情Ⅰ	1・2		2							
アメリカ文化事情Ⅱ	1・2		2							
日米交渉史	3・4		2					1		

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
西欧文化事情Ⅰ	3・4		2		1					
西欧文化事情Ⅱ	3・4		2		1					
オセアニア文化事情	1・2		2							
アラブ文化事情	3・4		2		1					
東南アジア文化事情	2・3		2							
中国文化事情Ⅰ	1・2		2							
中国文化事情Ⅱ	1・2		2							
日中交渉史	2・3		2							
韓国文化事情	1・2		2							
日事情	1・2		2		1					
海外研修	2・3		6					2		
国際交流	3・4		2		1	1		2		講師1名が平成18年4月に死去したが、他に専任3名が担当しているため、補充せず⑩
インターンシップ1	2・3		2			1				
インターンシップ2	2・3		2			1				
国際ボランティア	2・3		6					1		講師1名死去のため、変更書提出⑩ 担当 都倉武之(講師) 平成18年8月 教員審査済 判定 可 都倉武之、本人都合により平成19年9月末退職予定のため、変更書提出予定⑩ 担当 神野潔(助教) 平成19年8月 教員審査予定 判定 未定
ボランティア1	2・3		2		1					
ボランティア2	2・3		2		1					
日本の伝統文化1(華道・茶道)	3・4		2							
日本の伝統文化2(書道・伝統芸能)	3・4		2							
演習Ⅰ(入門)	3		4		9 8					教授1名就任辞退したが、他に教授8名が担当しているため、補充せず⑪
演習Ⅱ(専門基礎)	3		4		9 8					教授1名就任辞退したが、他に教授8名が担当しているため、補充せず⑪

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習Ⅲ(専門発展)	4		4		9 8					教授1名就任辞退したが、他に教授8名が担当しているため、補充せず⑩
演習Ⅳ(専門完結)	4		4		9 8					教授1名就任辞退したが、他に教授8名が担当しているため、補充せず⑩

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 120	科目 0	科目 128	科目 8 [0]	科目 120 [0]	科目 0 [0]	科目 128 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし				

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし				

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{0}{128} = 0$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武蔵野短期大学と共用			
	0	27,404	0	27,404				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武蔵野短期大学と共用			
	3,677 (3,677 m ²)	7,065 (7,065 m ²)	1,798 (1,798 m ²)	12,540 (12,540 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	15 室	5 室	1 室	1 室 (補助職員 1人)	1 室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科		23 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 (うち外国書) 冊	学術雑誌 (うち外国書) 種	電子ジャーナル (うち外国書)	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	<ul style="list-style-type: none"> ・絶版になった図書を変更。 ・開学後、教員・学生からの新たな要望(留学生向け、特に中国語の図書、日本文化・日本史・日本語学習用図書および情報処理・経済・経営・法律・教職・教育・語学関係の図書購入の要望)を受け入れて購入図書を変更。 ⑮⑯⑰ ・申請時の製品の新旧交代、新たな講義に必要な機器備品が生じたため。 ⑮⑯⑰
	国際コミュニケー ション学部	44,288[7,760] 43,740(7,722) (42,910(7,652))	80 [30] (65 [20])	0 [0] (0 [0])	1,815 1,683 (1,663)	1,148 1,143 (1,018)	0 (0)	
	計	44,288[7,760] 43,740(7,722) (42,910(7,652))	80 [30] (65 [20])	0 [0] (0 [0])	1,815 1,683 (1,663)	1,148 1,143 (1,018)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	3,437 m ²		103 席		108,000			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	725 m ²		グラウンド					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員1人当り研究費等	520 千円	530 千円	図書購入費	2,000 千円	1,200 千円	0 千円	
	共同研究費等	3,000 千円	3,000 千円	設備購入費	500 千円	700 千円	0 千円	
	学生1人当り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
納付金	1,110 千円	910 千円	910 千円	910 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・収益事業について 平成19年度より、休業していたスィミングクラブを再開し、積極的な会員募集を行い収益を教育に還元する。 ・寄付金収入について 父母会同窓会からの法人への寄付金の一部を充当する。 ・補助金収入について 適正な学生数確保による経常費一般補助の交付を受けるとともに、ウエイトの高まってきた特別補助についても積極的に申請する。 ・資産運用収入について 法人の資金運用については、法人の資金運用基準に則った安全かつ有利な運用を基本に見直しを進め、収益増強を図る。また、従来無料であった講堂、体育館等の所有施設の学外者の利用料について、地元貢献やチャリティ以外の利用については、実費を徴収する。 						

4 既設大学等の状況

大学の名称	武蔵野学院大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
該当なし	年	人	年次 人	人		倍	年		
大学の名称	武蔵野短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
幼児教育学科	2	100	0	200	短期大 学士(幼 児教育 学)	1.12	昭和56	埼玉県狭山市上広 瀬860番地	

5 教員組織の状況

<国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	副学長 学部長 教授	大久保 治男 (69)	平成16年4月	現代社会と法 日本文化論 日本事情							
専	教授	川西 幸子 (69)	平成16年4月	生活と科学 生活と自然 演習Ⅰ(入門) 演習Ⅱ(専門基礎) 演習Ⅲ(専門発展) 演習Ⅳ(専門完結)							
専	教授	輪嶋 直幸 (54)	平成17年4月	保健体育 スポーツ1 スポーツ3 スポーツと健康1 スポーツと健康2 ボランティア1 ボランティア2							
兼任	講師	輪嶋 直幸 (54)	平成16年4月	保健体育 スポーツ1 スポーツと健康1 スポーツと健康2							
専	教授	島村 英紀 (62)	平成17年4月	かけがえのない地球 環境と科学 演習Ⅰ(入門) 演習Ⅱ(専門基礎) 演習Ⅲ(専門発展) 演習Ⅳ(専門完結)	兼任	講師	島村 英紀 (62)	平成17年4月	かけがえのない地球 環境と科学 演習Ⅰ(入門) 演習Ⅱ(専門基礎) 演習Ⅲ(専門発展) 演習Ⅳ(専門完結)	平成16年12月 国立極地研究所所長就任のため、就任辞退。専任教授数を満たしているため支障はない。①	
					兼任	講師	遠藤 康弘 (34)	平成18年4月	かけがえのない地球 環境と科学		平成18年3月 一身上の都合により兼任講師を辞退。② 「演習Ⅰ(入門)」「演習Ⅱ(専門基礎)」「演習Ⅲ(専門発展)」「演習Ⅳ(専門完結)」については、他に担当教員が8人いるため、支障はない。
					兼任	講師	稲葉 大策 (73)	平成19年4月	かけがえのない地球		平成19年4月 遠藤康弘講師の本務の都合による担当者の変更。③
					兼任	講師	松井 とも子 (72)	平成19年4月	環境と科学		
専	教授	山本 明徴 (68)	平成16年4月	Freshman English Reading Freshman English Writing Freshman Communication English 演習Ⅰ(入門) 演習Ⅱ(専門基礎) 演習Ⅲ(専門発展) 演習Ⅳ(専門完結)							
専	教授	逸見 武志 (71)	平成18年4月	ビジネス英語 英語討論 英語講読							

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	室本 弘道 (64)	平成16年4月	ネットワークシステム 国際情報論 国際情勢 危機管理 演習 I (入門) 演習 II (専門基礎) 演習 III (専門発展) 演習 IV (専門完結)						
専	教授	梅田 紘子 (59)	平成16年4月	言語的コミュニケーション論 Advanced English Reading Advanced English Writing Integrated English English Grammar 英語学概論 異文化コミュニケーション 国際交流 演習 I (入門) 演習 II (専門基礎) 演習 III (専門発展) 演習 IV (専門完結)						
専	教授	林 猛 (54)	平成16年4月	日本の生活文化 民俗学 演習 I (入門) 演習 II (専門基礎) 演習 III (専門発展) 演習 IV (専門完結)						
専	教授	山崎 和邦 (67)	平成16年4月	ビジネス・マネジメント 現代社会とビジネス 現代企業と職業 情報と職業 演習 I (入門) 演習 II (専門基礎) 演習 III (専門発展) 演習 IV (専門完結)						
専	教授	佐々木 隆 (44)	平成16年4月	国際文化交流 Freshman English Reading Freshman English Writing 英米文学史 英語講読 西欧文化事情 I 演習 I (入門) 演習 II (専門基礎) 演習 III (専門発展) 演習 IV (専門完結)						
専	教授	前川 清 (70)	平成18年4月	アラブ文化事情 西欧文化事情 II 演習 I (入門) 演習 II (専門基礎) 演習 III (専門発展) 演習 IV (専門完結)						
専	准教授	山本 眞裕 (46)	平成16年4月	Freshman English Writing Freshman English Reading Advanced English Reading Advanced English Writing Integrated English インターンシップ1 インターンシップ2						
専	准教授	小川原 正道 (27)	平成18年4月	国際交流						

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	Northeast Helen (52)	平成16年4月	Freshman Oral English Advanced Oral English Public Speaking Advanced Communication English						
専	講師	青木 雅幸 (55)	平成16年4月	Integrated English Freshman English Reading Freshman English Writing Advanced English Reading Advanced English Writing ビジネス英語 コマーシャル表現論 海外研修						
専	講師	角田 牧 (47)	平成17年4月	情報処理入門 コンピュータと情報数学 Computer Training1 Computer Training2 情報処理応用演習 I 情報処理応用演習 II						
兼任	講師	角田 牧 (47)	平成16年4月	情報処理入門 コンピュータと情報数学 Computer Training1 Computer Training2						
専	講師	木川 裕 (44)	平成16年4月	情報関連法規 現代社会と情報 情報処理入門 Computer Training1 Computer Training2 情報機器利用プレゼンテーション演習						
専	講師	渡辺 孝 (45)	平成17年4月	国際交流 国際ボランティア	兼任	講師	都倉 武之 (26)	平成18年4月	国際ボランティア	平成18年1月 一身上の都合により休職。 復職することを前提に担当者を変更。⑩ 「国際交流」は他に担当教員が3人いるため支障はない。
					専	講師	都倉 武之 (26)	平成18年10月	国際ボランティア	平成18年4月 死去により退職。平成18年8月教員審査済。⑩
					専	助教	神野 潔 (30)	平成19年10月	国際ボランティア	平成19年9月 慶應義塾福澤研究センター 講師就任の招聘を受け退職予定。平成19年7月変更書提出予定。⑩
専	講師	鈴木 陽子 (32)	平成17年4月	日米交渉史 海外研修 国際交流						
兼任	講師	千田 實 (62)	平成16年4月	文学 日本の文学とことば						
兼任	講師	遠山 久也 (39)	平成16年4月	歴史						
兼任	講師	若井 淳二 (61)	平成16年4月	倫理学						
兼任	講師	本田 公夫 (59)	平成16年4月	日本国憲法						

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	伴 好彦 (36)	平成17年4月	スポーツ2						
兼任	講師	Wayne Crothers (42)	平成16年4月	英語コミュニケーション Freshman Oral English Advanced Oral English Advanced Communication English	兼任	講師	本城 武則 (44)	平成19年4月	英語コミュニケーション Freshman Oral English Advanced Oral English Advanced Communication English	平成19年4月 本務の都合により、担当者を変更。⑩
兼任	講師	楊 華 (28)	平成16年4月	中国語コミュニケーション 中国語Ⅱ(中級) 中国語Ⅲ(上級)						
兼任	講師	高嶋 めぐみ (39)	平成17年4月	女性論 コミュニケーション概論 家族関係論						
兼任	講師	宮本 一史 (69)	平成16年4月	ボランティア リカレント教育論 発達心理学 社会心理学						
兼任	講師	小野寺 和子 (59)	平成16年4月	Freshman Communication English 映像表現論 アメリカ文化事情Ⅰ アメリカ文化事情Ⅱ 海外研修						
兼任	講師	大内 章年 (33)	平成16年4月	中国語Ⅰ(初級) 海外研修	兼任	講師	楊 華 (30)	平成18年4月	中国語Ⅰ(初級) 海外研修	平成18年4月 本務の都合により、担当者を変更。⑩
兼任	講師	藤井 宏尚 (45)	平成16年4月	フランス語Ⅰ(初級) フランス語Ⅱ(中級)						
兼任	講師	三好 行雄 (41)	平成16年4月	日本語Ⅰ(初級) 日本語Ⅱ(中級) 日本語Ⅲ(上級)	兼任	講師	鈴木 忍 (60)	平成18年4月	日本語Ⅰ(初級) 日本語Ⅱ(中級) 日本語Ⅲ(上級)	平成18年4月 本務の都合により、担当者を変更。⑩
兼任	講師	荻原 尚 (48)	平成18年4月	マルチメディア表現						
兼任	講師	森本 浩 (62)	平成16年4月	デジタル通信 社会情報システム論	兼任	講師	中込 成夫 (43)	平成18年4月	デジタル通信 社会情報システム論	平成18年4月 本務の都合により、担当者を変更。⑩
兼任	講師	師尾 修 (69)	平成16年4月	マスコミュニケーション概論 国際コミュニケーション						
兼任	講師	左奈田 恒夫 (68)	平成16年4月	プレゼンテーション 非言語的コミュニケーション論3(行動表現)	兼任	講師	鈴木 聡之 (48)	平成19年4月	プレゼンテーション 非言語的コミュニケーション論3(行動表現)	平成19年4月 本務の都合により、担当者を変更。⑩
兼任	講師	鳥越 浩一 (35)	平成16年4月	非言語的コミュニケーション論1(音楽表現)						
兼任	講師	能仲 ヤツヲ (69)	平成16年4月	非言語的コミュニケーション論2(造形表現)						
兼任	講師	仲尾 唯治 (55)	平成16年4月	社会学概論 教育社会学						
兼任	講師	川井 千恵子 (69)	平成16年4月	心理学概論 カウンセリング						
兼任	講師	田中 利則 (49)	平成16年4月	社会福祉 老人福祉 世代交流論	兼任	講師	磯村 浩子 (68)	平成17年4月	社会福祉 老人福祉 世代交流論	平成17年4月 一身上の理由による退職のため、担当者を変更。⑪

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	淡野 民雄 (71)	平成18年4月	国際サービス						
兼任	講師	稲葉 大策 (70)	平成17年4月	国際経済協力						
兼任	講師	内山 加代子 (53)	平成16年4月	オセアニア文化事情						
兼任	講師	山口 知子 (39)	平成17年4月	東南アジア文化事情						
兼任	講師	林 鳴宇 (31)	平成16年4月	中国文化事情 I 中国文化事情 II 日中交渉史 日本の思想と宗教						
兼任	講師	斎藤 明美 (51)	平成16年4月	韓国文化事情						
兼任	講師	岡崎 直子 (58)	平成18年4月	日本の伝統文化1(華道・茶道)						
兼任	講師	入戸野 真知子 (58)	平成18年4月	日本の伝統文化1(華道・茶道)						
兼任	講師	横山 千枝子 (54)	平成18年4月	日本の伝統文化2(書道・伝統芸能)						
兼任	講師	渡辺 覚 (47)	平成18年4月	日本の伝統文化2(書道・伝統芸能)						
兼任	講師	黒野 耐 (60)	平成18年4月	人間と安全保障 国際関係						
兼任	講師	茂野 隆晴 (62)	平成16年4月	現代社会と政治 日本の政治と歴史						
兼任	講師	齊藤 洋 (44)	平成16年4月	国際政治史						
兼任	講師	中込 成夫 (41)	平成17年4月	システム設計 情報検索						
兼任	講師	増田 万吉 (70)	平成16年4月	簿記・会計						
兼任	講師	澁谷 隆一 (74)	平成18年4月	金融論	兼任	講師	西原 三千雄 (51)	平成19年4月	金融論	平成19年4月 本務の都合により、担当者 を変更。⑩

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
12	2	6	-	20	1	11	2	6	0	19	2	
(8)	(1)	(3)	(-)	(12)	(1)	[△1]	[0]	[0]	[0]	[△1]	[1]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	島村 英紀	平成16年12月、国立極地研究所所長就任のため平成17年度からの就任を辞退した。
2	講師	渡辺 孝	平成18年1月、一身上の都合のため休職したが、平成18年4月に死去した。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1. 島村英紀教授は、国立極地研究所所長という要職への就任の申し出があったので就任辞退を了承した。担当授業については、専任教員数が基準を満たしていることもあり、他の8名の教員が担当する「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」「演習Ⅳ」を除いて、兼任対応とし、履修上の支障はない。学生へはシラバス及び新年度ガイダンスにおいて変更を周知した。
2. 渡辺孝講師は、一身上の都合により、平成18年1月より休職扱いとなり、平成18年4月に死去した。担当科目の「国際ボランティア」は平成18年8月に変更書を提出し、平成18年10月より専任着任で対応した。「国際交流」は、他に3名の教員が担当しているので、履修上の支障はない。学生へは新年度ガイダンス及び初回授業において変更を周知した。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未 履 行 事 項 に つ い て の 実 施 計 画
認 可 時 (平成15年11月27日)	該 当 な し		
設 置 計 画 履 行 状 況 調 査 時 (平成18年 5月 1日)	武蔵野短期大学幼児教育学科の入学定員超過の是正に努めること。	平成18年5月1日現在の設置計画履行状況報告書において武蔵野短期大学幼児教育学科の入学定員超過状況の報告は、学科の開設年度からの入学定員超過率の平均を記入するとの指導であったため、学科開設の昭和56年度から平成18年度までの26年間の数値を記入した結果1.35となった。しかし、今回の指導では過去2年間の数値の表記とのことで、平成17,18年度の平均では、1.17であり、平成18,19年度の平均では1.12の入学定員超過率となった。幼児教育学科の入学定員については、厚生労働省の指導もあり、定員を大幅に超過することなく質の高い教育を实践すべく努力している。	平成20年度以降の学生募集については入学定員超過とならぬよう、入学辞退者の見込み等慎重な受験生対応を通して定員確保を行う。

7 その他全般的事項

< 国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科 >

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変 更 内 容 ・ 状 況 ・ 今 後 の 見 通 し な ど
<p>① 教員の資質向上の方策 個別研究費とは別に共同研究費を給付。その推進を支援する。</p> <p>② 取得資格 英語科中高教員・情報科高校教員免許課程を設置。また、全国大学実務教育協会の認定するプレゼンテーション実務士・上級情報処理士の資格を取得できるようにする。</p> <p>③ 学部学科の特色 友好協力関係を結ぶ海外の大学に大連外国語大学、上海交通大学(以上中華人民共和国)、トロント大学、ヨーク大学、ブロック大学(以上カナダ)、バイン・マナー大学(アメリカ合衆国)を予定する。</p> <p>④ 地域振興上のニーズ 地域貢献の一環として、公開講座、地元企業へのインターンシップ、ボランティアなどを行う。</p> <p>⑤ 教員組織 助手を1名置く。</p> <p>⑥ 留学生受け入れのドミトリーを設ける。</p>	<p>① 共同研究をより専門的・組織的に行うため、平成16年度に学内の研究組織として「武蔵野学院大学日本総合研究所」を設置。年1回共同研究の成果を発表する研究紀要を発行。共同研究を推進するために、日本総合研究所に客員教授や客員研究員を招いて、本学教員と共同研究を実践。</p> <p>② 平成18年度に日本語教員養成課程を設置し、取得可能な資格の充実を図った。</p> <p>③ 予定した海外大学との交流に加え、平成16年度に又石大学(韓国)と交流協定を結び、翌年度に交換留学制度を設けた。また、平成17年度に銘伝大学(台湾)、杭州師範大学(中華人民共和国)と交流協定を締結し、後者については今後教員交流を行う予定である。平成18年度には浙江工商大学(中華人民共和国)と交流協定を締結した。</p> <p>④ 平成16年度より埼玉県教育委員会が主導する彩の国アカデミーの協定を、地元高等学校(埼玉県立狭山高校、同飯能高校、同川越工業高校)と結び、将来大学受験を目指している高校生を対象にした大学の授業を開講している。平成18年度には経済産業省が勧める小学校のビジネス体験の総合学習を狭山市商工会議所と地元の小学校(上広瀬小学校)と提携し、本学学生の指導の下に奨学生の商業体験プログラムを実施した。</p> <p>⑤ 若手の教育研究活動の一層の充実を図ることを目的に、平成18年度より助手を2名に増員した。</p> <p>⑥ 平成16年度開設時に留学生受け入れのドミトリーを設け、留学生が若干名入寮したが、平成18年度4月当初入寮希望が0名となった。留学生は日本語能力が高いこともあり、日本社会になじむためアパート住まいを希望するようになったため、ドミトリーは海外からの招聘教員の宿泊や短期留学生用として利用する他は陸上競技部の寮として使用することとした。大学の地元にあpartmentを希望する留学生のためには、地元不動産業者の協力の下、本学留学生のための低賃貸でのマンション借入れを行っている。</p>

認 可 時 の 計 画	変 更 内 容 ・ 状 況 ・ 今 後 の 見 通 し な ど
<p>⑦ 大学院への進学指導を行い、グローバルに活躍することの出来る真の国際人養成を図る。</p>	<p>⑦ 知的基盤社会を支える高度な知的素養を備えた人材養成への期待は、国際的なものであり、これに応えるには大学院教育が不可欠の時代となった。学生から大学院開設を求める強い声があること、海外協定・協力大学でも日本語専攻の学生が大学院進学を希望していること、地域の自治体等から大学院開設の要望が強いこと等を受けて、完成年度を迎える1年前の平成19年4月に、学部を基礎とする大学院国際コミュニケーション研究科国際コミュニケーション専攻(修士課程)の設置認可を受けた。予定通り平成19年4月1日に開学し、高度なコミュニケーション・スキルとしての語学・情報処理能力を修得した上で、企業・経営、メディアにおけるコミュニケーションの応用スキル、日本文化や政治・経済、また米国、中国、西欧、中東など地域ごとの深い理解力を身に付けた人材養成をスタートさせた。学部生は平成20年度より内部進学者として大学院に受け入れたい。修士課程の教育研究の成果を挙げて博士課程の設置に向けて努力していきたい。</p>

(2) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>(別紙のとおり)</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表(予定)時期</p> <p>・平成21年5月1日 公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>・自己点検・評価報告書を刊行し、地元諸団体、企業、教育機関及び希望する学生に各1冊配布予定。 ・大学ホームページ上に公開予定(平成21年8月を予定)。</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・完成年度(平成19年度)の翌年平成20年度に、評価機関((財)日本高等教育評価機構)の評価を受ける予定。</p>
--

(3) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成19年 5月 20日)
- c 文部科学省ホームページから、本学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成19年 5月 20日)
- c 文部科学省ホームページから、本学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部は、「他者理解」を理念に、日本社会をはじめ国際社会での様々な他者への深い洞察・理解力を有する学生の育成を目指している。そのために必要な「知識」と「スキル」をバランスよく修得し、それらを確実に自己の能力へと高めるための「体験」をも一体化したカリキュラム編成により、社会に有用な人材を輩出しようとの考えから開設された。

この理念の実現には、高度な教育・研究活動及び健全な経営が継続的に維持されることが不可欠であり、そのために、部署ごとの自己点検項目を設定し、これに基づき、①教員・事務員全員に対して年度末に自己の業務に関する点検・総括、②各部署ごと(図書館・事務局を含む)の点検・総括、③各授業における授業評価アンケートの実施とフィードバックなどを実施している。これらを機能させて教育・研究活動の維持・改善に結びつける一方、自己点検評価委員会に情報を集約し検討を行い、完成年度末における報告書取りまとめ及び第三者評価への準備を進めている。

また、これらの自己点検・評価の取り組みを通して浮かび上がった問題点や課題を含め、業務全体に関する情報を常に共有し、円滑な教育・研究活動が推進される風通しの良い大学の事務環境となるよう、各種の検討会・会議を開催し、大学業務全般が相互連携の下に組織的に行われるようにしている。①学部教員会議(学部教員全員による打ち合わせ会議)を前後期各数回、②合同科会(短大、大学院教員との合同打ち合わせ会議)を前後期各数回、③業務部会(業務推進部主催の各部責任者による打ち合わせ会議)を毎週1回開催しているのが主要なものであり、また業務推進部(各部門の連絡調整を図るために事務局の下に設置)において随時情報を集約・提供し、必要に応じて課題の検討を行っている。

学生は、海外での実習や資格取得へ意欲的に取り組みながら、各自の目的意識を徐々に高めており、これらが、学生の積極的学習への動機付けとして順調に機能しているものとする。また、本学が1学年120人を定員とする1学部のみ的小規模な大学であることも、学生の学習意欲の向上と維持に対する取り組みが、有効に機能する重要な要素となっていると考えている。

本年度はさらに、学生の声や、海外協定・協力大学、地元の自治体等からの大学院開設の要望等を受けて、学部を基礎とする大学院国際コミュニケーション研究科国際コミュニケーション専攻(修士課程)を設置し、学生がより高度なスキル、理解力を身に付けられる教育・研究環境を整えた。

しかし、平成18年度は、入学者数が入学定員を下回り、19年度もわずかながら定員に満たない結果となった。本学における大学教育の趣旨・目的が十分理解されて志願者が増加していくよう、また留学生も含めて優秀な学生が集う大学となるよう、募集、広報等の活動に今後も一層努力をしていきたい。また、スクールバスの運行等、学生生活を支援する体制も継続的に検討・改善し、学習・学生生活の充実を図れるよう一層努力しているところである。

教員の研究面においては、年1回の『武蔵野学院大学研究紀要』の発行に加えて、学内外の研究者による共同研究成果を発表する場として、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』を刊行し、研究成果を公にしている。個人研究・共同研究による学際的・総合的研究を広げることによって、本学の理念である「他者理解」の学問的基盤を今後一層充実・精緻なものとし、もって学生の教育・学問発展への寄与を図りたいと考えている。

教育・研究・経営の三者が一体となって機能し、学生の学習意欲維持、また学習の深化・向上が実現され、本学設置の趣旨や目的は、達成されつつあるものと確信するが、今後もこれを維持できるよう一層制度の整備・改善の努力を継続していく所存である。

8 留意事項に関する添付資料

武蔵野短期大学幼児教育学科 入学試験結果資料(定員超過率)

年度	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員超過率	2年間定員超過率平均
18年度	100	144	142	124	121	1.21	1.12
19年度	100	133	132	109	104	1.04	